

修学旅行新聞

発行所 財団法人
全国修学旅行研究協会
発行人 鴻田好通
〒102-0074
東京都千代田区九段南
2-6-8 九段南ビル
☎ 03 (5275) 6651
http://shugakuryoko.com
e-mail shuryo@h2.dion.ne.jp

海外修学旅行の実施は、 まず安全性の確認を

米ニューヨークなどで起きた同時多発テロの影響で、米国などへの海外修学旅行の実施が懸念されている。海外修学旅行は、次代を担う青少年への国際理解教育の一環としての海外体験の機会であり、当協会の調べによると、平成12年度は全国の公立高校で445校(前年比118%)、7万5千人(同120.6%)の生徒が参加した。私立高校を含めると全体で約1,000校の

立学校主管理課へ、「海外修学旅行の安全対策について」として、これから米国を含む海外への修学旅行の計画を有している場合は、最新の情報を入手する等、安全対策に最新の注意を払うよう、周知徹底方をおこなっている。

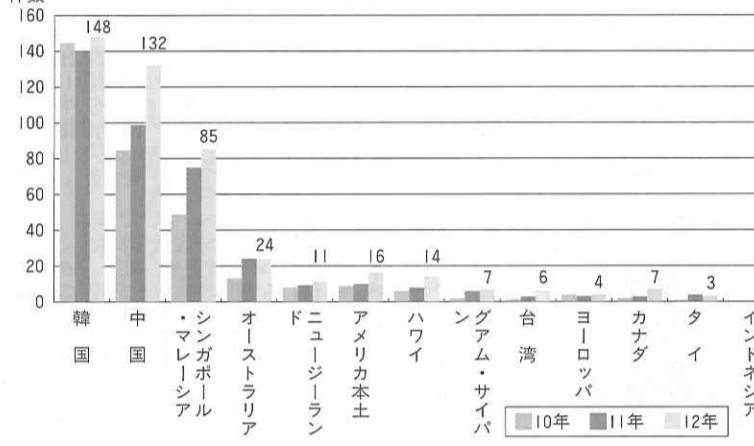
なお、海外修学旅行については、既に幾つかの安全に関する通知文が出されており、本誌面に平成元年2月9日付通知の本文を掲載し、各学校の注意をお願いするものである。



ウブドウ近郊のジャングルにて
—インドネシア研究・体験旅行—
大阪教育大学附属高等学校天王寺校舎

財団法人全国修学旅行研究協会(全修協)は、日本の教育の振興に寄与することを目的とし、教育を熱愛し子供たちの幸福を希求する人々の支持を得て、修学旅行の改善向上を目指して、全国的規模で活動する文部省許可の教育研究財団です。

全国公立高等学校海外修学旅行旅行先推移(平成10年度~12年度)



主張

今回、アメリカ合衆国において、航空機による世界貿易センタービル爆破という想像を絶するテロが発生した。今回、起ったテロは海外修学旅行にとって大きな障害であり、特に安全性の確保の面で懸念されている。

このような状況下、海外修学旅行を計画している学校は、どう判断すべきか大きな問題に直面している。

先に平成元年、文部科学省は、「海外修学旅行の安全確保について」初中局長通知を出している(通知文参照)。今回、文部科学省は、この通知の再確認を呼び掛けている。

変更に、時期の変更、国内へ変更などいろいろあるが、最終的には学校の判断で決定することが望ましい。

その判断には、計画通り実施、旅行先国の中止は、保護者にとっても忍びないものがある。学校関係者・保護者、関係団体が協力して、修学旅行中止の事態を避けたいものである。

修学旅行の実施は前向きに

今、各学校が痛切に求めているのは、現地の安全確保についての正確な情報である。これは旅行を中止するという事態を教えることと考える。国内海外にかかわらず、海外を変更する場合においても、修学旅行を中止するという事態を教えることと考える。国内海外にか

海外修学旅行の安全確保について

海外修学旅行における安全確保の徹底については昭和六三年三月三十一日付文初高第一三九号をもって通達したところであり、関係在外公館における迅速かつ適切な対応を可能とするため、事前協議の結果、今後は左記のような取扱いが可能となりました。

海外修学旅行の安全確保に万全を期するため、このような手続きを活用するなど、一層の御配慮をお願いいたします。

おつて、貴管下の市町村教育委員会及び学校に対し周知徹底方をお願いいたします。

一 情報提供に関する依頼書の提出について
海外修学旅行の実施が目的の地の安全等に

かわらず、修学旅行の教育的意義に照らして、また、生徒の期待・夢、生涯の思い出となる学

校行事である修学旅行の中止は、保護者にとっても忍びないものがある。学校関係者・保護者、関係団体が協力して、修学旅行中止の事態を避けたいものである。

沖繩は支障なく平常

9月28日文部科学省は、今日及び21日付の事務連絡「海外修学旅行の安全対策について」は、米国を含む海外への修学旅行の計画を有している場合に、最新の情報を入手し、安全確保に細心の注意を求めたものであり、

収集をはじめとする諸活動や本邦への連絡がより円滑に行うことができる。

なお、この依頼書の提出後、実施校より外務大臣官房領事移住部領事第二課に連絡をとり、希望する情報の提供を求めるとなる。

二 計画段階での事前相談について
前記依頼書の提出の有無にかかわらず、外務大臣官房領事移住部領事第二課内「海外安全相談センター」に対し海外修学旅行の計画段階における事前相談を行うことができる。

(同センターの利用については、昨年九月の各都道府県教育委員会等指導専務主幹部課長会議において、関係国の一般情報を含め、可能な範囲で必要な情報を得ることができるよう紹介したところである。)

※ なお、文中の外務大臣官房領事移住部領事第二課は、現在の外務大臣官房領事移住部邦人保護課である。

「沖繩など国内特定地域を対象とした自粛や注意喚起を求めるとは、ではない」との再度の事務連絡を行った。沖繩県は9月21日稲垣知事名で、「県民の生活等に支障なく平常通り行われており、観光施設も通常営業をしている」との文書を、全国の教育委員会や旅行社などに送付している。

萩の花 尾花
花 葛花
でしこの花
女郎花 また
藤袴 朝顔の
花(万葉集巻八)秋の七草を詠んだ山上憶良の歌である。尾花はすき、朝顔はあきがおひくげ、ききょうなど諸説ある▼萩の名所と言われる寺は各地に在る。奈良の元興寺もその一つである。南都七大寺として日本で最も古い大寺のひとつだつたが今は極楽坊の本堂と禅室が残るのみ、禅室の屋根に見る行基葺きの瓦の古色に往時が偲ばれる。前身はわが国最初の本格的寺院といわれる飛鳥寺(五九六年創建)という。▼元興寺のある奈良町に「もいちどのとおり」という通りがある。名前のように、一度訪れてみたいそんな雰囲気漂う町並みである。それは懐かしさの中に歴史を感じさせるからであろう▼失敗知識活用研究会と言う会の存在を知った。失敗の経験・体験を知識として活用するという発想に興味を感じる。その報告書は、失敗を繰り返さないためというよりは、失敗をおそれずこれを乗り越えていく人材の育成と、これを可能にする社会的風土の醸成が重要という。チャレンジという「もう一度」である▼盛岡の中学校の露台の欄干に一度我を倚らしめ・啄木(鴻)

楽しい旅に 大きな安心。

東京海上火災保険株式会社
本店 東京都千代田区丸の内1-2-1 ☎03-3212-6211(代表)

「学校旅行総合保険」をおすすめします。

夢と感動の
修学旅行

人が好き。地球が好き。旅がスキ。

近畿日本ツーリスト

運輸大臣登録旅行業第20号 (社)日本旅行業協会員

教育の窓

いよいよ来年度から小中学校では、「総合的な学習の時間」が動き出す。

平成八年に中央教育審議会第一次答申が提示した「生きる力」の育成をうけて、平成十年の教育課程審議会答申に「総合的な学習の時間」(以下、総合的時間と称す)創設が示された経緯が思い出される。

今日、実施が目前に迫り、各学校では、新しい教育課程編成に向け指導計画作成など、多忙を極めていますが、だが聞くところによ

ると、この総合的時間がどの学校でも横並び、画一的な取り扱いになつていないようであり、少々気になつてきている。かつて、小学校に生活科が創設された時に、当初のねらいから離れて、多くの学校では類似した学習内容や方法による展開が見られたという反省がある。その転を踏まえないようにしなければならない。そのためには、原点に立ち戻ることが大切である。

「総合的な学習の時間」の原点への回帰

東京農業大学教授
元文部省主任視学官



渡部 邦雄

総合的時間の創設の趣旨は、①各学校が地域や学校の実態に応じて、創意工夫をこらして特色ある教育活動を展開できるようにする時間を確保すること

②「生きる力」が全人的な力であることを踏まえて、国際化、情報化などの社会の変化に主体的に対応できる資質・能力の育成を確保すること

図ること及び情報の集め方、調べ方、まとめ方、報告や発表・討論の仕方などの学び方やものの考え方を身につけること、問題解決や探究活動にゆとりをもつて、主体的、創造的に取り組む態度の育成と自己の生き方を考えることができるようになることである。

知識を教え込むことが目的ではなく、課題解決が主目的でもない。生徒が受け身でなく、主体的に学習を進め、問題を発見し、探究し、解決を目指すものであり、LEARN型からSTUDY型を目指すのである。

この学習を通して、教科、道徳、特別活動で身につけた知識や技能を、学校案内を中心とした班別交流会を行っている。

単なる英会話の時間になってしまいううでは困るのである。また、興味・関心を重視するからといって、「おもしろい」「楽しい」「やりたい」だけでは、ただの遊びに終わってしまふ恐れがある。

体験活動を重視するとしても、知的な操作(客観的知識、理解、思考等の操作)を欠き、総合性を欠いたままに「体験」をやりさえすればそれで良いというものでもない。

多くの学校では、例示された国際理解情報、環境、福祉・健康などの今日的な課題を中心に取り組む体制を整えているようだが、生徒の興味・関心に基づく課題や地域や学校の特徴に合った課題を取り上げるなど、もう一工夫が必要である。

さらに、総合的時間が「生きる力」の育成に有効に機能するためには、教科等における基礎・基本の習得こそが、必要条件であることにも注意を払いたい。原点回帰し、創設の趣旨を確認しよう。

研究・体験活動を中心に据えた宿泊行事

大阪教育大学附属高等学校天王寺校舎

I. はじめに
本校の修学旅行は、生徒が北海道、沖縄、インドネシアの三方面から一つを選ぶことから始まり、事前研修を経て、現地での研究・体験活動に取り組み、その成果を旅行終了後報告書作成することで完結する約2年にわたる教育活動であり、その実態から研究・体験旅行という名称になつてきている。三方面のうち特にインドネシアを選んだ理由として、①アジアの文化圏である、②治安が安定している、③留学生が多く情報を得やすい、などがあげられる。この旅行形態に変更して今年で5年目になるが、その間インドネシアの経済、政

治情勢の変化などで、ジャワ島のジョグジャカルタを中心とした旅行は一回しか実施できず、現在はバリ島に訪問先を変更している。バリ島では島内陸部にあり芸術の町として有名なウブドゥを中心とした活動を実施している。

II. 現地での活動
○現地での主な活動
生徒は、事前研修で得られた知識をもとに、現地では確認できない研究テーマを持って旅行に出発する。この研究テーマ探求活動は、事前にテーマ担当教員とともにその具体化を探っていくが、主に以下の体験活動の中で実施される。

○ 旅程

| 日次 | 旅程 | 宿舎 |
|-----|--------------------------|-----------------|
| 1日目 | 関西空港→デンパサール→ホテル | サンティカ・ビーチ |
| 2日目 | ハラパン高校交流 バリアートセンター見学 | チャンプルン・サリ(ウブドゥ) |
| 3日目 | 芸術体験学習 (パティック・ガムラン・バリ舞踊) | 同上 |
| 4日目 | ウブドゥ周辺トレッキング ウブドゥ町内観光 | 同上 |
| 5日目 | ウブドゥ町内散策 マーケット見学 | デンパサール |
| 6日目 | ジャカルタ→関西空港 | 機内泊 |



①学校交流
デンパサール市内のハラパン高等学校との交流を行っている。交換レモニーの後、4、5人のグループによる

②芸術体験学習
パティック、ガムラン、バリ舞踊の三つのコースを半日から一日の日程で体験

③ウブドゥ周辺トレッキング
ウブドゥ周辺の棚田を歩くトレッキングや、町内の美術館、博物館を巡るコースを設定し、生徒に選択させている。

III. 成果と課題
生徒の主体的な活動を保障することを目的とした研究・体験旅行は、訪問先を選択することから始まり、現地での活動も含めて、生徒自身が考える場面で、多くする。生徒

旅行へ参加する態度を確実に変化させている。そのことは、訪問地で起こる事故の発生が激減したり、帰阪時の関西空港で見受けられる生徒の生き生きとした顔つきなどから伺うことができる。また、それぞれの方では、毎年少しずつより主体的な活動に向かって体験内容の改良が加えられている。一方、生徒の主体的な活動を目指せば、必ずしも事前指導の時間が必要になり、その時間の確保と教員の負担が増してきている。今後この活動を「総合的な学習の時間」として位置づけることが一つの方策と考えられる。

美しく 伊勢志摩
伊勢内宮前 岩戸屋

内宮前でのお食事は階上・階下共1,500名様までお楽にお食事が出来ます。お食事ご休憩にご利用下さい。

おみやげコーナーは伊勢参拝記念の土産を豊富に販売致しております。

インターネット: <http://www.iwatoya.co.jp>
E-Mail: iwatoya@mail.iwatoya.co.jp

伊勢市内宮前
岩戸屋
伊勢内宮前 (〒516-0024)
TEL <0596> 23-3188(代)
FAX <0596> 28-1322

豊かな自然が息づく湖尻高原の中心。
箱根高原ホテルは、深い緑の中に700名収容の大ホールや、中小の研修室など、数々の施設が整っています。その他体験コースもいろいろ。心にとのこる思い出づくり。感動づくりに素晴らしい環境です。

湖尻高原の大自然に抱かれて
ハートフル・コミュニケーションをお約束します。

箱根高原ホテル
〒250-0500 神奈川県足柄下郡箱根町湖尻
☎(0460)4-8595(代) FAX.(0460)4-9488

古代文化 邪馬台国ルート
吉岐へ...

魏志倭人伝に一支国の名で記されている。古代大陸交流の要としてクニを構えていた吉岐。イルカとの共生をはじめ自然とのふれ合いが出来る絶好の教育旅行の場としてお薦めします。

吉岐教育旅行受入協議会事務局
九州郵船
TEL (092) 281-0831
FAX (092) 281-0444
URL <http://www.mapion.co.jp>

●修学旅行/林間学校/スキー体験学習
奥日光の自然と仲間たちとの語り... ..

夏は林間学校、冬はスキー。自然探勝の基地として日光国立公園内にたつ当ホテルをご利用ください。鉄筋3階建/小学生550名/中学生550名/高校生450名収容/大浴場あり

奥日光高原ホテル
〒321-1662 栃木県日光市湯元温泉
TEL. 0288(62)2121(代表)